

リハビリテーションコース

専攻共通必修科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EJ001	生涯発達方法論基礎I	1	1.0	1	通年	随時		生涯発達専攻_M1担任	生涯発達科学研究における方法論の基礎を習得する。	
01EJ002	生涯発達方法論基礎II	2	1.0	1	通年	随時		生涯発達専攻_M1担任	生涯発達科学研究における方法論の基礎を習得する。	
01EJ003	生涯発達方法論基礎III	2	1.0	1	通年	随時		生涯発達専攻_M1担任	生涯発達科学研究における方法論の基礎を習得する。	
01EJ011	生涯発達研究法I	2	1.0	2	通年	随時		生涯発達専攻_M2担任	生涯発達科学の研究法について演習を通して具体的に指導する。	
01EJ012	生涯発達研究法II	2	1.0	2	通年	随時		生涯発達専攻_M2担任	生涯発達科学の研究法について演習を通して具体的に指導する。	

リハビリテーションコース必修科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EJ501	リハビリテーション概説	1	2.0	1	春AB	土4,5	2F講義室9	リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_担当教員	医学,心理学,教育学,社会学等の幅広い観点から,リハビリテーションの発展過程と現代社会における定位を解説するとともに将来へのあり方を展望し,リハビリテーションの理念と実際について概説する。	生涯発達専攻リハビリテーションコース必修科目 OATE105と同一。 ・受講は,リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在学生在に限る。
01EJ503	リハビリテーション研究基礎論	1	1.0	1	春B	水7,8		リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_担当教員	リハビリテーション分野の研究法の基礎として,研究デザイン,学術論文の要件,臨床研究の倫理,実験計画法,調査法,観察法,面接法,質的研究法,事例研究法,文献研究法,検査法などについて概説する。	生涯発達専攻リハビリテーションコース必修科目 OATE106と同一。 ・受講は,リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在学生在に限る。
01EJ502	リハビリテーション特別研究	2	1.0	2	通年	随時		リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_担当教員	リハビリテーションに関する研究を,文献研究,実験実習などを通して具体的に指導する。	生涯発達専攻リハビリテーションコース必修科目 OATE107と同一。 ・受講は,リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在学生在に限る。

リハビリテーションコース専門科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
01EJ601	医学的リハビリテーション	1	1.0	1・2	春C 秋C	火7,8 集中	2F講義室9	山田 実,白石 弘巳,小澤 温	医学的リハビリテーションをめぐる今日的課題について,医学生物学的側面から制度的な問題まで多面的に検討し,今後のリハビリテーションのあるべき姿を考察する。	OATE201と同一。 ・受講は,リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在学生在に限る。 集中講義分(1/9と1/10)の実施時間帯:14:30~17:10
01EJ602	特別支援教育総論	1	1.0	1・2	春C	金7,8	2F講義室9	川間 健之介,佐島 毅	特別支援教育の制度,カリキュラムを踏まえて視覚障害,聴覚障害,知的障害,肢体不自由,病弱,及び発達障害の,その教育の理念と歴史及び現状について解説し,関連諸分野との連携について概説する。	OATE202と同一。

01EJ604	職業リハビリテーション	1	1.0	1・2	春A	金7,8	2F講義室9	八重田 淳	障害をもつ人々の85%は、「働く機会さえあれば働きたい」というアメリカの調査結果がある。「働く機会」が十分に創造されていないのはなぜか?本講義では、リハビリテーションそのものへの問いかけから始まり、働くことを手段とする職業リハビリテーションの哲学、職業リハビリテーションの科学、海外における職業リハビリテーションの実践等について紹介し、職業リハビリテーション領域における具体的な研究アプローチを学習する機会を提供する。	OATE204と同一。
01EJ659	地域リハビリテーション	1	2.0	1・2	春AB	木7,8	2F講義室9	小澤 温	地域リハビリテーションのサービスシステムを検討し、現状と課題を学習する。さらに、地域福祉論と地域ケア論における地域リハビリテーションの位置づけを検討する。	OATE205と同一。
01EJ607	リハビリテーションカウンセリング	2	1.0	1・2	春B	金7,8	2F講義室9	八重田 淳	リハビリテーションカウンセリングは、障害をもつ人々の総合的な自立生活と自己実現を総合的に支援するカウンセリング心理学の応用科学領域であり、もともとは職業リハビリテーションを総合的にマネジメントするための手法としてアメリカを中心に展開されている。したがって本講義では、アメリカの大学院リハビリテーションカウンセラー教育法を取り入れ、Scientist-Practitionerに必要なスキル習得を目指す。	OATE324と同一。
01EJ608	視覚障害学特論	1	2.0	1・2	春AB	火7,8	2F講義室9	佐島 毅	視覚障害児・者の感覚・知覚・認知の特性を概観し、医学的・心理学的視点を含めて包括的に発達、学習、教育支援の視点を学ぶ。	OATE308と同一。
01EJ609	聴覚障害学特論	1	2.0	1・2	秋AB	火7,8		山田 実, 左藤 敦子, 岡野 由実	本講では、小児期の聴覚障害児における聴覚認知、言語・社会的相互交渉の特性と障害について、聴覚医学(Audiology)の観点で、障害の実態とメカニズム、さらに指導法について講義を行なう。聴覚障害のリハビリテーションについて、基礎的な用語の解説から、最近の医学的知見に基づいた、聴覚の補償(補聴器・人工内耳)や、コミュニケーション障害の指導、および家族支援の実際まで幅広く講義する。小児のコミュニケーション障害において誤り易い聴覚障害児と知的障害児との共通性と相違点など鑑別に必要な視点について、事例や最近の研究知見をとおして理解を深める。さらに、近年、特別支援教育学や言語聴覚障害学で注目される、新生児聴覚検査による超早期診断、軽中等度難聴児の間こえとコミュニケーション、心理・社会的適応の課題、手話によるコミュニケーション法の選択などのトピックスに触れ、支援の科学的根拠について議論する。	OATE309と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。
01EJ610	言語障害学特論	1	2.0	1・2	通年	随時		山田 実	まず言語・コミュニケーション障害の種類、言語・コミュニケーション障害に対する評価・診断、治療および支援の枠組みについて概説し、次に小児期から老年期までにわたる各障害の基本概念、原因と発生メカニズム、症状、評価・診断、指導・訓練・相談・マネジメントの方法と実際について概説する。	OATE310と同一。
01EJ611	運動障害学特論	1	2.0	1・2	春AB	金7,8	2F講義室8	川間 健之介	運動障害児(者)のリハビリテーションに関するアセスメントとインターベンションに焦点を当てて、医学的・教育的・心理学的側面から学習する。	OATE311と同一。
01EJ613	知的障害学特論	1	2.0	1・2	秋AB	金7,8	2F講義室9	小島 道生, 小澤 温	知的障害の心理や認知特性、教育課程や指導法、そして福祉制度ならびに評価や支援の実際について概説する。	OATE312と同一。 ・集中講義分の実施時間帯: 10:20~17:50
01EJ614	精神障害学特論	1	2.0	1・2	秋AB	火7,8	2F講義室9	河野 禎之	超高齢社会である現代において重大な疾患となっている「認知症」について、臨床的・実践的な講義を行うとともに、医療/福祉領域に限らず認知症を「社会的課題」として捉えるアプローチである「Dementia Friendly Community」について最新の知見を学ぶ。また、年代を問わず最も身近な精神障害と言える「うつ」について、その病理や最新の薬物/非薬物治療のほか、最新の社会情勢、具体的な対応の実践について学ぶ。さらに、授業でグループワークを重ねることで、これらの課題について自らがどのように考え、どのように行動するのか、プロフェッショナルとして主体性を発揮できるようになることを目指す。	OATE313と同一。 ・受講にあたり、所属学位プログラム(専攻)は問わないため、誰でも受講可能。 オンライン(オンデマンド型) オンライン(同時双方向型)
01EJ636	健康障害学特論	1	1.0	1・2	春AB 夏季休業中	木7,8 集中		川間 健之介, 山田 実	健康障害を有する者および高齢者および健康障害を有する者をめぐる諸問題を多面的に検討し、包括的なリハビリテーションのあり方を考察する。	OATE315と同一。 ・集中講義分の実施時間帯: 10:00~17:00
01EJ637	高齢障害学特論	1	1.0	1・2	秋AB	木7,8	2F講義室9	山田 実	高齢者をめぐる諸問題を多面的に検討し、包括的なリハビリテーションのあり方を考察する。	OATE316と同一。

01EJ661	発達障害学特論	1	2.0	1・2	春AB	火7,8	2F講義室8	熊谷 恵子	発達障害を理解する上で必要となる心理学的な知識(認知的な特徴、発達、行動等)、学習上での特徴を取り上げ、さらに、支援のための通常学校でのシステム、教育相談など、指導につなげるためのリソースについても講義する。	OATE317と同一。
01EJ639	特別支援教育授業論	1	1.0	1・2	秋A	金7,8		川間 健之介, 佐島 毅, 米田 宏樹	特別支援教育の理念に基づき、特別支援学校及び小中学校特別支援学級における学校体制、学級経営、指導計画の立案・作成と評価、授業実践の在り方の実践について考究する。	受講は「特別支援学校教諭 専修免許状」取得予定者に限る OATE301と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在学学生に限る。
01EJ640	特別支援教育教育課程論	1	1.0	1・2	秋B	金7,8		川間 健之介, 佐島 毅, 米田 宏樹	障害児教育における教育課程編成の原理と実際について概説する。とくに、障害の重度化、重複化あるいは多様化の中で、法令や学習指導要領に規定される特例を用いた弾力的な教育課程の編成について整理し、特別支援教育における教育課程の編成及び教育課程開発の在り方について考究する。	受講は「特別支援学校教諭 専修免許状」取得予定者に限る OATE302と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在学学生に限る。
01EJ641	特別支援教育コーディネーター論	1	1.0	1・2	秋C	火7,8		熊谷 恵子	特別支援学校および小・中学校における特別支援教育コーディネーターの役割と専門性、学校間の協力体制の構築、校内支援体制の構築、コーディネーターの育成について取りあげ講義するとともに、特別支援教育コーディネーターの実践について学ぶ。	受講は「発達障害学特論」の受講者に限る。 開講時間帯は10:20~17:50。 OATE303と同一。
01EJ643	職業指導論	1	1.0	1・2	通年	随時		八重田 淳	障害児・者の雇用と就労に関する国内外の動向と法制度の概要、就労支援サービス利用者のニーズ、就労支援・職業リハビリテーション関連機関と関連専門職の役割と機能、就労支援のプロセスと就労支援技術、医療・教育分野との連携について述べる。	受講は「特別支援学校教諭 専修免許状」取得予定者に限る OATE305と同一。
01EJ658	障害者福祉論	1	1.0	1・2	春C	木7,8	2F講義室9	小澤 温	障害および障害者の社会福祉学における概念を理解し、障害者福祉の理念、思想、歴史を理解する。さらに、障害者の生活実態とその生活を取り巻く環境を理解する。障害者総合支援法と関連する諸制度に関する理解を深め、障害者支援に関して学習する。	受講は「特別支援学校教諭 専修免許状」取得予定者に限る OATE304と同一。
01EJ618	リハビリテーション事例研究	2	2.0	1・2	秋AB	土6,7	2F講義室9	リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_担当教員	リハビリテーションの観点から事例を検討し、リハビリテーションにおける連携の諸問題について理解を深め、相談援助のための知識・技術を修得する。	受講は生涯発達専攻リハビリテーションコースの学生に限る OATE306と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在学学生に限る。
01EJ644	特別支援教育事例研究	2	2.0	1・2	通年	随時		リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_担当教員	障害児・者等の事例を検討し、事例を中心とした各領域・職種間における連携の諸問題について理解を深めるとともに、相談援助のための知識・技術を修得する。	受講は生涯発達専攻リハビリテーションコースの学生で、「特別支援学校教諭 専修免許状」取得予定者に限る OATE307と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在学学生に限る。
01EJ619	リハビリテーション課題研究	2	1.0	1・2	通年	随時		リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)_担当教員	当年度春学期開始後(2年次の院生は12月1日以降)になされた各自の関連学会等における発表をもとに、その際の議論に基づいて、研究を深める。また、この発表をもとに学会誌等へ論文を投稿する。	受講は生涯発達専攻リハビリテーションコースの学生に限る OATE325と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在学学生に限る。
01EJ629	統計学I	4	2.0	1・2	春AB	土6,7	2F講義室9	川間 健之介, 佐島 毅, 八重田 淳, 山田 実	記述統計及び推測統計の基礎を学び、研究デザインに応じた統計解析の手法を選択する力を養う。2学期の「統計学II」(集中)の前段としての科目。	受講は生涯発達専攻リハビリテーションコースの学生に限る

01EJ656	リハビリテーション英語	1	1.0	1・2	夏季休業中	集中		八重田 淳	リハビリテーションの英語論文を効果的に読む方法、妥当な検索キーワードの選び方、英語の図表の書き方と読み方、正しい英語文献の書き方、国際共同研究の進め方、国際学会プレゼンテーションなどについて実践的に学ぶ。	受講は生涯発達専攻リハビリテーションコースの学生に限る。OATE326と同一。
01EJ645	視覚障害学演習	2	1.0	1・2	通年	随時		佐島 毅	視覚障害教育、医療、福祉、リハビリテーションに関する内外の文献及び実際例をもとに、医学的・教育的・心理学的側面を踏まえて理論的・実践的に考察する。	受講は生涯発達専攻リハビリテーションコースの学生に限る。OATE318と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。
01EJ648	運動障害学演習	2	1.0	1・2	通年	随時		川間 健之介	運動障害児(者)のリハビリテーションに関するアセスメントとインターベンションに焦点を当てて、内外の文献及び実際例をもとに、教育的・心理学的側面から学習する。小児期から高齢期にいたる運動障害ははじめとする障害のリハビリテーションの今日的課題について事例及び文献を通して医学生物学的側面を踏まえて理論的・実践的に考察する。	受講は生涯発達専攻リハビリテーションコースの学生に限る。OATE319と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。
01EJ650	高齢障害学演習	2	1.0	1・2	通年	随時		山田 実	高齢期におけるさまざまな障害のリハビリテーションをめぐる今日的課題について、事例及び文献を通して理論的・実践的に考察する。	受講は生涯発達専攻リハビリテーションコースの学生に限る。OATE320と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。
01EJ651	知的障害学演習	2	1.0	1・2	秋C	随時		小澤 温, 小島 道生	知的障害教育、医療、福祉、リハビリテーションに関する内外の文献及び実際例をもとに、医学的・教育的・心理学的・社会福祉学的側面を踏まえて理論的・実践的に考察する。	受講は生涯発達専攻リハビリテーションコースの学生に限る
01EJ652	発達障害学演習	2	1.0	1・2	通年	随時7,8		熊谷 恵子	発達障害児者の学校場面における様子を観察する時のポイントについて学んだ上で、主に教育相談室に来室した発達障害の子どもの面接(初回面接ならびに学習支援やSSTなど)に立ち会うなどし、子ども達のニーズを把握するために重要な観察ポイントを学ぶ。それを踏まえて、論文に書かれている子ども達の実態をイメージできるようにする。	受講は生涯発達専攻リハビリテーションコースの学生に限る。OATE321と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。
01EJ653	精神障害学演習	4	1.0	1・2	秋C	随時		河野 禎之	精神障害教育、医療、福祉、リハビリテーションに関する内外の文献及び実際例をもとに、医学的・教育的・心理学的側面を踏まえて理論的・実践的に考察する。	受講は生涯発達専攻リハビリテーションコースの学生に限る。OATE330と同一。
01EJ654	社会リハビリテーション演習	2	1.0	1・2	通年	随時		小澤 温	社会リハビリテーションの理論に基づいて、社会生活力を高める各種プログラムや、機会均等化、環境改善を進めるための具体的な実践方法や課題を学ぶ。	受講は生涯発達専攻リハビリテーションコースの学生に限る。OATE322と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。
01EJ655	職業リハビリテーション演習	2	1.0	1・2	通年	随時		八重田 淳	キャリアデザイン、キャリア移行支援、キャリア開発などをキーワードに、生涯発達科学における職業リハビリテーション研究方法論を演習形式により修得する。研究法に慣れ親しみ、学術論文を読める力を養い、研究計画を策定・実施するために必要な基本能力を養うために、実際に調査票を作成し、仮データに基づいた分析等を行う。	受講は生涯発達専攻リハビリテーションコースの学生に限る。OATE323と同一。 ・受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期課程)および生涯発達専攻リハビリテーションコースの在學生に限る。